

**厚生文教常任委員会
所管事務調査説明資料**

平成 30 年 2 月 7 日

社会教育課

文化センター大規模改修工事概要

実施年度	改修項目	主な改修内容	金額
H30	耐震補強	大ホール鉄骨造屋根水平ブレース補強・耐震スリット新設	54,305,000
	特定天井改修	大ホール特定天井落下対策(天井裏のぶどう棚・吊り棒補強、天井面にネット設置)	85,675,000
	大ホール改修	音響設備改修、照明設備改修、吊物改修	311,288,000
	大集会室改修	音響設備改修、照明設備改修、吊物改修	58,875,000
	機能性向上	大ホール入り口自動ドア(文化会館)	12,445,000
	省エネ改善	照明器具LED化(文化会館側)	16,762,000
	空調、消防設備等改修	2階第3練習室エアコ設置(文化会館)、誘導灯・非常用照明更新	6,898,000
	内部改修	文化会館側:床、壁、天井内装改修、建具塗装、鍵交換	40,096,000
	外構改修	キャンピ―改修(屋根改修、天井新規、柱既存のまま) インターロッキング不陸調整	11,990,000
計			598,334,000

実施年度	改修項目	主な改修内容	金額(概算)
H31	耐久性向上	外壁塗装、ひび割れ補修	77,741,000
	機能性向上	エレベーター設置(公民館側)	9,800,000
	省エネ改善	照明器具LED化(公民館側)	11,288,000
	空調、消防設備等改修	2階会議室エアコ設置(公民館側)、大集会室空調機器更新、蒸気ボイラー1台更新、暖房ラインポンプ更新、誘導灯・非常用照明更新	84,712,000
	内部改修	公民館側:床、壁、天井内装改修、建具塗装、鍵交換	38,301,000
	外構改修	駐車場外灯更新	2,824,000
	煙突改修	煙突断熱材改修	27,000,000
計			251,666,000

事業費合計	850,000,000
-------	-------------

昭和 54 年に竣工された清水町文化センターについては、これまで 38 年以上にわたり優れた文化芸術の鑑賞や社会教育関係団体、文化団体の活動拠点として本町の生涯学習の推進に大きく寄与して参りました。

しかしながら一方で、大規模な改修工事履歴はなく、施設の保全として最低限の補修に留まっておりました。

今般、建物及び各種設備は、経年劣化による老朽化が著しく、部位によっては耐用年数を超えているものも多くあります。

また、耐震診断を行った結果、改善改修の指摘もあったことで突発的なリスクが高まっておりました。

つきましては、今後も安全で安定的に、かつ継続的に住民サービスを提供するため、大規模な改修工事を実施するものです。

本工事により、清水町文化センターを利用されるすべての方々の安全の担保と利便性の確保がなされ、さらには多様化するニーズに応えられる施設になることが期待されます。

【改修の目的】

(1) 劣化改修

既存の設備や機器に耐用年数をはるかに超えるものが多数あり、故障の際の部品交換や修繕が行えない状況にあるもの、また、その他の設備機器についても突発的な故障のリスクが高いため、改修を通じて施設の安全性を高め、今後の安定的な管理運営を確保する。

(2) 機能性の向上

科学技術等の水準が向上したことに伴い、利用者の要求の水準も上がったことで施設の機能向上を図る改修を行う。

(3) 安全性の確保

平成 26 年度に実施した施設の耐震診断結果に伴う改修指摘箇所について、速やかに改修を実施し、利用者の安全を確保するとともに法令順守に努める。

(4) 利便性の向上

多くの町民が利用しやすい施設とするべく、エレベーターの設置や入口の自動ドア化、エアコンの設置等、高齢者など社会的弱者にも対応した施設に改修する。

(5) 公共性、経済性の考慮

省エネルギーや地球環境を考慮し、公共施設として備えるべき機能を今一度見直し、可能な範囲で改修を行う。

【主な改修内容】（基本的な考え方に基づく）

分類	改修項目	備考
劣化改修	大ホール・大集会室舞台特殊設備 大ホール・大集会室照明設備 大ホール・大集会室音響設備 大ホール客席シート改修 空調・給排水設備 各部屋内装・建具改修 外壁全面塗装 消防用設備改修 外構改修	
機能性向上	ホワイエ展示用設備 文化会館入口自動ドア化	
安全性	耐震補強 特定天井落下対策 煙突断熱材改修 キャノピー架替	【耐震改修】
利便性	エレベーター設置 エアコン設置	
経済性	LED 照明化	